



政府統計

令和8年通信利用動向調査（企業用）

調査票の記入の手引き

総務省

◎ この調査は、統計法に基づく承認を得て実施するものです。この調査票は、報告者に利害関係を生じるような目的に利用されることはありませんので、ありのままをご記入いただきますようご協力をお願いします。

調査票記入上の注意事項

- ◆ 調査票に、貴社のあて先があらかじめ印字されています。内容に変更がある場合、誠に恐れ入りますが、以下の訂正例を参考に訂正してください。

【訂正例】

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目15-9 さわだビル3F (株)総務通信 (株)総務情報通信 総務部門 御中	この調査票に記入いただいた方の所属部署名	
	この調査票に記入いただいた方のお名前	
	ご連絡先の電話番号	

訂正部分を二重線で消し、修正内容をその下にご記入下さい。

- ◆ 調査票を提出する前に、記入もれや記入誤りがないか、もう一度ご確認ください。
- ◆ 記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和8年9月30日（水）までに返送いただきますよう、お願いいたします。

調査票の記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

『通信利用動向調査』実施事務局

（委託事業者）株式会社ナビット

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目15-9 さわだビル3F

TEL: 0120-964-603（通話料無料）平日 10:00～17:00（土日、祝日を除く）

E-MAIL: r8-tsushin-doko@navit-j.com

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

《設問に対する記入上の注意》

問1 関連

貴社が利用しているインターネットの接続回線をすべてご回答ください。

「9. インターネットに接続していない」を選択した場合は、問3へお進みください。

問1 貴社におけるインターネットの接続状況についてお尋ねします。

貴社では、どのような回線でインターネットに接続していますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 電話回線(ダイヤルアップ) | 6. BWAアクセスサービス* |
| 2. ISDN回線 ^注 * | 7. 専用線* |
| 3. ケーブルテレビ回線(CATV回線)* | 8. その他 |
| 4. 光回線(FTTH回線)* | 9. インターネットに接続していない |
| 5. 固定無線回線(FWA)* | |

注 光回線によるISDNは、「4. 光回線(FTTH回線)」に含めてください。

次ページ問3へお進みください

問4 関連

テレワークの導入の有無にかかわらず、すべての企業がご回答ください。

問4 貴社におけるテレワークの導入状況についてお尋ねします。

(1) 貴社では、テレワークを導入していますか。該当する番号1つに○を付けてください。

(導入している場合は、a～dの該当する番号すべてに○を付けてください。)

- | |
|---|
| 1. 導入している (a. 在宅勤務 b. サテライトオフィス勤務 c. モバイルワーク d. ワークेशन) |
| 2. 導入していないが、今後導入予定がある |
| 3. 導入していないし、具体的な導入予定もない |

注:テレワークとは、貴社建物から離れたところに居ながら、通信ネットワークを活用することにより、貴社建物内で勤務する場合とほぼ同等の仕事ができる勤務形態のことです。具体的には、以下の形態があります。

在宅勤務	終日在宅勤務のほか、1日の勤務時間のうち、一度オフィスに出勤、もしくは顧客訪問や会議参加などをしつつ、一部の時間は自宅で業務を行う「部分在宅勤務」も該当します。
サテライトオフィス勤務	所属するオフィス以外の他のオフィスやシェアオフィス、コワーキングスペース、遠隔勤務用の施設を就業場所とする働き方。
モバイルワーク	営業活動などで外出中に作業する場合。営業職などの従業員がオフィスに戻らずに移動中の交通機関や駅・カフェなどでメールや日報の作成などの業務を行う形態も該当します。
ワークेशन	Work(仕事)と Vacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワークなどを活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすことです。余暇主体と仕事主体の2つのパターンがあります。

「1. 導入している」を選択した場合、a～dの該当する番号すべてに○を付けた後、(2)へお進みください。

次ページ問4 (3) へお進みください

用語集

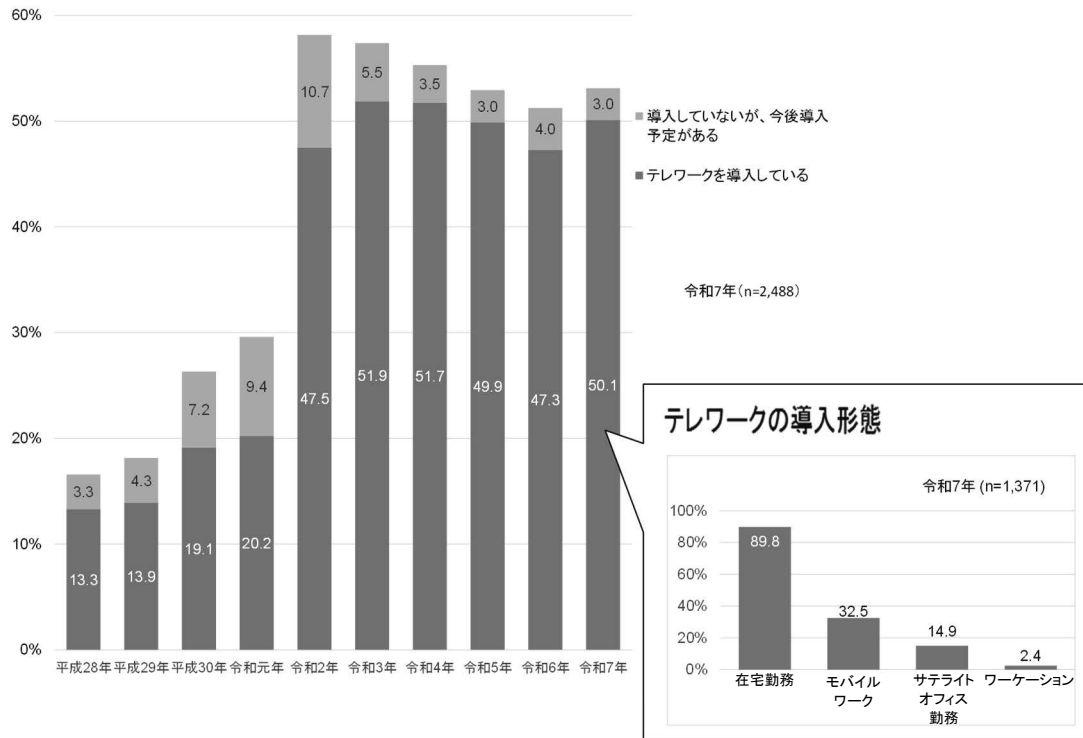
調査票中、「※」が付された語句につきましては、下記の説明をご参照ください。

索引	用語	説明
A	ASP	Application Service Provider の略。インターネットを通じて、ビジネス用アプリケーションソフトを顧客に提供する事業者。
B	BWAアクセスサービス	広帯域移動無線アクセスシステム（Broadband Wireless Access の略）。信号を伝えるケーブルの代わりに無線（電波）を使うデータ通信サービスの総称。
D	D o S（DD o S）攻撃	サーバに大量のパケットを送ってシステムをダウンさせ、サービスを不能にする攻撃のこと。
I	I SDN回線	Integrated Service Digital Network の略。電話、FAX、テレックス、データ通信等を統合するデジタル通信網の一般的な名称。
L	LPWA	Low Power Wide Area の略。低消費電力、広いカバーエリア、低コストを可能とする無線通信システム。
S	SaaS	Software as a Service の略。ネットワークを通じて、アプリケーションソフトの機能を顧客の必要に応じて提供する仕組み。
け	ケーブルテレビ回線（CATV 回線）	ケーブルテレビのケーブルをインターネット接続に用いる場合を指す。
こ	合理的配慮の提供	障害者が日常生活や社会生活において受ける様々な制限をもたらす原因となる社会的な障壁を取り除くため、その実施に伴う負担が過重でない場合に、特定の障害者に対して個別の状況に応じた措置を講じること。
	固定無線回線（FWA）	Fixed Wireless Access の略。加入者側建物にアンテナを設置し、電気通信事業者の設置する基地局アンテナと無線で接続するシステム。
し	自営等 BWA	広帯域移動無線アクセスシステム（BWA）のうち、自らの建物や敷地内で、スポット的に利用可能とすることを目的とした通信システム。
す	スパムメール	受信者の都合を無視し、無差別かつ大量に配信されるメールのこと。
せ	生成 AI	文章、画像、プログラム等を生成できる AI モデル（学習データを用いた機械学習により、入力データに応じた予測結果を生成するモデル）にもとづく AI の総称。
	専用線	特定区間をダイレクトで結び、専有して利用する通信サービス。
	全国/地域 BWA	全国 BWA は、WirelessCityPlanning 及び UQ コミュニケーションズによる全国の公衆向けデータ通信システム。地域 BWA は、地域の公共サービスの向上やデジタル・ディバイド（条件不利地域）の解消等、地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした通信システム。
	全国 5G サービス	携帯電話事業者による全国向け 5G サービス。
	全国 4G サービス	携帯電話事業者による全国向け 4G サービス。
ち	聴覚障害者等	聴覚、言語機能または音声機能の障害のため、音声言語により意思疎通を図ることに支障がある方のこと。
て	電話リレーサービス	聴覚障害者等と聴覚障害者等以外の者との会話を、通訳オペレータが手話・文字と音声を通訳することにより電話で双方向につながるサービス。令和 3 年 7 月から、公共インフラとしての提供が開始された。
ひ	光回線（FTTH 回線）	光ファイバによる、高速伝送の可能なデータ通信サービス。光ファイバとは、ガラス繊維でできたケーブルで、光通信の伝送路に使う。
	標的型メール	特定の組織・個人に対して、機密情報の窃取などを目的として、ウイルスを添付するなどして送られるメールのこと。
ふ	不正アクセス	企業などのコンピュータシステムに無許可で侵入し、システムに不具合を起こしたり、不正に利用したりすること。
ろ	ローカル 5G	地域の企業や自治体等の様々な主体が、自らの建物や敷地内でスポット的にネットワークを構築し利用する通信システム。

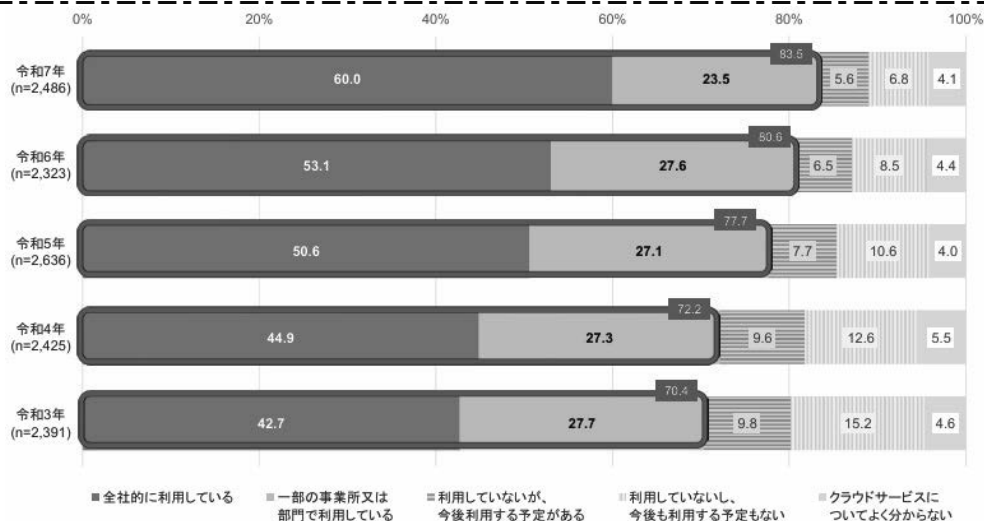
調査結果のご紹介

前年調査（令和7年）調査結果の概要（一部）

○ テレワークを導入している企業の割合は 50.1%となり、前年から 2.8 ポイント増加した。



○ クラウドサービスの一部でも利用している企業の割合は 83.5%となっている。全社的に利用している企業の割合も 60.0%となっており、前年から 6.9 ポイント増加している。



※本調査の詳細な結果（報告書、統計表など）は、総務省のウェブサイト内の「情報通信統計データベース」(<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>)に掲載しています。